



TITLE:

五月の天空

AUTHOR(S):

CITATION:

五月の天空. 天界 1927, 7(74): 200-201

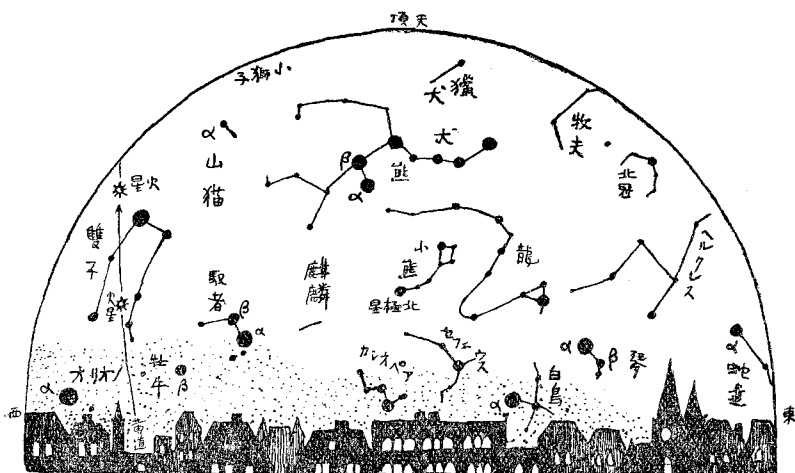
ISSUE DATE:

1927-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161108>

RIGHT:



五月の北天

天を仰ぐと、静かな夜の暗黒の中からも、いろいろの聲が聞える——

北天に高く、今子午線を通過しつつあるおほくまの姿は

『今が春の真盛り!!』と全世界へ宣言してゐる姿である。

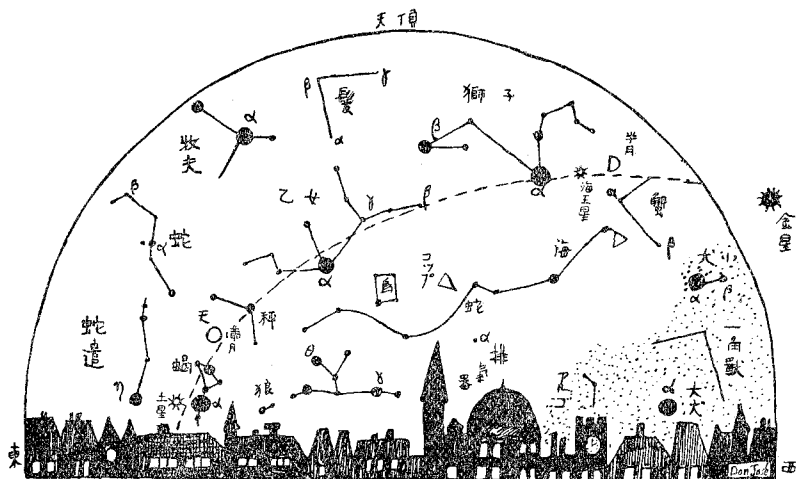
西には、**オリオン**が、冬の星々を代表して『暫く、おさらば!』と言つて居り、

東北の低い空からは、純白の一等星「織女」(琴の α)が久しぶりに現れて、

『お次ぎは、おれ達の夏の番だ!!』と叫んでゐる。

火星が未だ未練らしく西に落ちきらないで、五月中、**ふたご**座にあるのも隣れである。

天の河は殆んど消えて、所々の一部づつが地平線上に見えてゐる——



五月の南天

獅子と、乙女と、牧夫とに代表される此の五月の空に、
西には金星が愈高く、東からは土星が現はれて来た——
此の星空を、月は白道に沿ふて、西から東へ渡り行く。

5月 1日後9時半が新月， 9日前0時半が上弦，

17日前4時が満月， 24日後2時半が下弦，

31日前6時が又新月，

キンネケ彗星が既に発見されて、今、**牧夫座**から**龍座**へ移りつゝある（但し之れは肉眼では今は見えない。）